

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成23年11月14日
【四半期会計期間】	第60期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	寿スピリッツ株式会社
【英訳名】	Kotobuki Spirits Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 河越 誠剛
【本店の所在の場所】	鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
【電話番号】	0859(22)7477(代表)
【事務連絡者氏名】	経営企画部部长 松本 真司
【最寄りの連絡場所】	鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
【電話番号】	0859(22)7477(代表)
【事務連絡者氏名】	経営企画部部长 松本 真司
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第59期 第2四半期連結 累計期間	第60期 第2四半期連結 累計期間	第59期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	9,169,685	9,058,671	18,432,218
経常利益(千円)	599,768	457,507	1,314,802
四半期(当期)純利益(千円)	267,606	220,411	580,226
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	249,833	237,827	557,856
純資産額(千円)	5,466,002	5,752,473	5,774,005
総資産額(千円)	12,481,539	12,825,794	12,316,592
1株当たり四半期(当期)純利益金 額(円)	25.80	21.25	55.93
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	43.8	44.9	46.9
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	138,749	375,634	907,465
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	455,175	566,268	809,431
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	151,650	156,587	530,565
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	1,490,746	1,492,244	1,526,291

回次	第59期 第2四半期 連結会計期間	第60期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	17.41	20.24

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 平成22年4月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
5. 第59期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、本年3月11日に発生いたしました東日本大震災の影響による自粛ムードは和らぎ、消費マインドは徐々に回復の兆しが見られるものの、景気先行きの不透明感が増す状況で推移いたしております。

このような環境のもと、当社グループは、経営理念の具現化に向け『熱狂的ファン創り』の徹底実践と強固な経営基盤の構築に向け『新成長エンジン創り』をテーマに、具体的対策に落とし込み、刻々変化する市場動向と顧客ニーズを的確に捉えながら、全従業員の総力を結集し、積極果断に事業施策を推進いたしました。

業績面は、期初であります4月が震災の影響を大きく受け、大幅な減収・減益を余儀なくされ、5月以降は、高速道路料金の「休日上限千円」の割引制度の廃止や夏場の天候不順のマイナス影響があった一方、自粛ムードの緩和と積極的な事業施策の遂行により、概ね前年同期水準で推移いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、9,058百万円（前年同期比1.2%減）営業利益は474百万円（前年同期比17.3%減）、経常利益は457百万円（前年同期比23.7%減）、四半期純利益は220百万円（前年同期比17.6%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

ケイシイシイ

「ルタオ」ブランドを擁するケイシイシイは、認知度の更なる向上と強固なブランドの構築に向け、有名タレントを起用したテレビCMの放映やテレビ番組との共同開発企画などプロモーション展開を推進し、また、本年5月に小樽市で6店舗目となる大型新店舗「パトス」のオープン、7月にはリニューアルされた新千歳空港での初の直営店舗の出店、商品面では新商品「シンデレラ デ フロマージュ」、「宇治抹茶ドゥーブルフロマージュ」の投入による通販企画の充実など様々な対策強化に取り組みました。その結果、売上高は3,169百万円（前年同期比0.7%減）となり前年同期水準で推移した一方、営業利益は新規出店の初期費用や販促費用が増加したことなどにより126百万円（前年同期比47.0%減）となりました。

なお、本年9月に札幌三越店及びアマイワナ店を退店いたしました。

寿製菓

寿製菓は、関東圏の代理店向け売上が低迷した一方、地元山陰地区では「白ウサギフィナンシェ」がPR展開により続伸し、また、グループ向け売上が堅調に推移したことにより、概ね回復基調で推移いたしました。その結果、売上高は3,328百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は212百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

販売子会社（11社）

販売子会社（11社）は、交通機関市場を中心に販売強化に努め、名古屋地区での新商品「小倉トーストラングドシャ」、関西地区でのコンディトライ神戸の生ギフト展開、宮崎地区での「宮崎マンゴーラングドシャ」などが堅調に推移した結果、売上高は2,075百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は95百万円（前年同期比49.7%増）となりました。

九十九島グループ

九十九島グループは、大手テーマパーク向け売上の落ち込み、ハウステンボス地区の直営店舗「グランマーケット店」の本年5月退店に伴う売上減少要因があった一方、主力商品のPR展開や新商品「博多創菓子 はかたんもん」の拡販などに努めた結果、売上高は1,366百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益28百万円（前年同期比34.5%減）となりました。

但馬寿

但馬寿は、震災の影響による期初の売上高の落ち込みや黒豆茶通販が低調に推移した結果、売上高は508百万円（前年同期比7.2%減）、営業利益は30百万円（前年同期比34.3%減）となりました。

つきじちとせ

つきじちとせは、早期の業績回復を目指すべく、本年6月に「東京ミルクチーズ工場」及び「コートクールシュクレ」の2つの洋菓子系ブランドを新たに立上げ、羽田空港催事の強化に努めました。更に、本年8月には新宿ルミネに出店し、自家消費需要への展開にも取り組みました。その結果、売上高は372百万円（前年同期比13.3%増）、営業損失は7百万円（前年同期は営業損失26百万円）となりました。

その他

その他は、損害保険代理業が含まれております。売上高は2百万円（前年同期比14.3%減）となり、営業利益は0百万円（前年同期比62.7%減）となりました。

(2) 財政状態の状況

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ509百万円増加し、12,825百万円となりました。流動資産は5,129百万円となり、247百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少（34百万円）があった一方、季節変動要因による受取手形及び売掛金の増加（198百万円）、商品及び製品の増加（52百万円）などによるものです。固定資産は7,696百万円となり、261百万円増加いたしました。主な要因は有形固定資産において、減価償却費計上による減少（255百万円）があった一方、新店舗出店などの設備投資（487百万円）を実施したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ530百万円増加し7,073百万円となりました。流動負債は4,632百万円となり72百万円増加いたしました。主な要因は支払手形及び買掛金の増加（104百万円）、短期借入金の増加（100百万円）による増加要因と1年内返済予定の長期借入金の減少（145百万円）の減少要因によるものです。固定負債は2,440百万円となり458百万円の増加となりました。主な要因は、長期借入金の増加（480百万円）によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ21百万円減少し、5,752百万円となりました。主な要因は、四半期純利益（220百万円）の計上による増加、配当金の支払い（259百万円）による減少などです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.0ポイント減少し、44.9%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）残高は、前連結会計年度末に比べ34百万円減少し、1,492百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、375百万円（前年同期比170.7%増）となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益424百万円、減価償却費の計上283百万円の計上があった一方、売上債権の増加264百万円、法人税等の支払200百万円などの減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、566百万円（前年同期比24.4%増）となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出499百万円、その他の支出額35百万円などによるものであります。（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、156百万円（前年同期は151百万円の資金使用）となりました。

主な要因は、短期借入金の純増額100百万円及び長期借入れによる収入600百万円の増加要因があった一方、長期借入金の返済による支出265百万円及び配当金の支払259百万円等の減少要因によるものであります。

(3) 事業上及び財政上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費の総額は、16,136千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、ケイシイシイで店舗を新規出店したこと、各セグメントで新卒採用を行ったことなどの要因により、グループ全体の従業員数は前連結会計年度末799人から76人増加し875人となっております。また、グループ全体の臨時従業員数は前連結会計年度末553人から32人減少し521人となっております。

(6) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の新設について、当第2四半期連結累計期間に完成したものは次のとおりであります。

会社事業所名	所在地	セグメントの名称	設備の内容	投資額 (千円)	完了年月	完成後の 増加能力
(株)ケイシイシイ パトス	北海道小樽市	ケイシイシイ	新店舗建設	333,303	平成23年5月	(注)2

(注)1. 金額には消費税等を含めておりません。

2. 当該計画は新店舗の出店のため、生産能力の大幅な増加はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,400,000
計	30,400,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,373,840	10,373,840	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	10,373,840	10,373,840	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年7月1日~ 平成23年9月30日	-	10,373,840	-	1,217,800	-	550,269

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
河越 誠剛	鳥取県米子市	3,571	34.43
寿スピリッツ従業員持株会	鳥取県米子市旗ヶ崎2028	434	4.19
河越 庄市	鳥取県米子市	338	3.26
株式会社山陰合同銀行	鳥根県松江市魚町10	300	2.89
株式会社鳥取銀行	鳥取県鳥取市永楽温泉町171	254	2.45
株式会社商工組合中央金庫	東京都中央区八重洲2-10-17	120	1.16
福山通運株式会社	広島県福山市東深津町4-20-1	120	1.16
松本 能利子	鳥取県境港市	107	1.03
高橋 紀代子	鳥取県米子市	106	1.02
大日本印刷株式会社	東京都新宿区市谷加賀町1-1-1	100	0.96
計	-	5,452	52.56

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,372,800	103,728	-
単元未満株式	普通株式 840	-	-
発行済株式総数	10,373,840	-	-
総株主の議決権	-	103,728	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が6,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数60個が含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
寿スピリッツ株式会社	鳥取県米子市旗ヶ崎2028	200	-	200	0.00
計	-	200	-	200	0.00

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,067,291	2,032,644
受取手形及び売掛金	1,718,193	1,917,048
商品及び製品	434,018	486,542
仕掛品	23,784	24,922
原材料及び貯蔵品	311,531	314,082
その他	342,959	378,819
貸倒引当金	15,957	24,293
流動資産合計	4,881,819	5,129,764
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,008,182	3,207,446
機械装置及び運搬具(純額)	505,174	498,705
工具、器具及び備品(純額)	172,015	222,087
土地	2,571,639	2,571,639
リース資産(純額)	67,687	61,269
建設仮勘定	5,886	-
有形固定資産合計	6,330,583	6,561,146
無形固定資産	122,646	113,002
投資その他の資産		
その他	1,033,736	1,104,710
貸倒引当金	52,192	82,828
投資その他の資産合計	981,544	1,021,882
固定資産合計	7,434,773	7,696,030
資産合計	12,316,592	12,825,794
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	609,372	714,073
短期借入金	2,100,000	2,200,000
1年内返済予定の長期借入金	685,898	540,138
未払法人税等	202,957	227,332
賞与引当金	358,631	339,726
その他	603,609	611,508
流動負債合計	4,560,467	4,632,777
固定負債		
長期借入金	913,735	1,394,131
退職給付引当金	717,011	734,320
役員退職慰労引当金	120,638	88,574
その他	230,736	223,519
固定負債合計	1,982,120	2,440,544
負債合計	6,542,587	7,073,321

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,217,800	1,217,800
資本剰余金	1,323,161	1,323,161
利益剰余金	3,243,333	3,204,404
自己株式	239	258
株主資本合計	5,784,055	5,745,107
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,050	7,366
その他の包括利益累計額合計	10,050	7,366
純資産合計	5,774,005	5,752,473
負債純資産合計	12,316,592	12,825,794

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	9,169,685	9,058,671
売上原価	4,741,797	4,665,993
売上総利益	4,427,888	4,392,678
販売費及び一般管理費	3,853,948	3,917,745
営業利益	573,940	474,933
営業外収益		
受取利息	491	258
受取配当金	1,686	1,695
受取地代家賃	39,909	9,865
その他	12,130	18,123
営業外収益合計	54,216	29,941
営業外費用		
支払利息	26,772	23,086
貸倒引当金繰入額	-	20,225
その他	1,616	4,056
営業外費用合計	28,388	47,367
経常利益	599,768	457,507
特別損失		
固定資産売却損	36	-
固定資産除却損	4,289	2,139
投資有価証券評価損	-	30,458
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	49,357	-
特別損失合計	53,682	32,597
税金等調整前四半期純利益	546,086	424,910
法人税等	278,480	204,499
少数株主損益調整前四半期純利益	267,606	220,411
四半期純利益	267,606	220,411

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	267,606	220,411
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	17,773	17,416
その他の包括利益合計	17,773	17,416
四半期包括利益	249,833	237,827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	249,833	237,827

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	546,086	424,910
減価償却費	256,216	283,557
投資有価証券評価損益(は益)	-	30,458
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	49,357	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	8,562	38,972
賞与引当金の増減額(は減少)	8,550	18,905
退職給付引当金の増減額(は減少)	16,580	17,309
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,333	32,064
受取利息及び受取配当金	2,177	1,953
支払利息	26,772	23,086
固定資産売却損益(は益)	36	-
固定資産除却損	4,289	2,139
売上債権の増減額(は増加)	87,589	264,550
たな卸資産の増減額(は増加)	57,736	56,213
仕入債務の増減額(は減少)	31,215	104,701
その他	148,641	44,247
小計	655,853	595,694
利息及び配当金の受取額	1,909	1,806
利息の支払額	27,240	21,369
法人税等の支払額	491,773	200,497
営業活動によるキャッシュ・フロー	138,749	375,634
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	1,700	600
定期預金の払戻による収入	7,400	1,200
投資有価証券の取得による支出	603	603
有形固定資産の取得による支出	436,415	499,556
有形固定資産の売却による収入	29	-
無形固定資産の取得による支出	10,437	32,761
貸付けによる支出	2,200	-
貸付金の回収による収入	1,150	1,300
その他	12,399	35,248
投資活動によるキャッシュ・フロー	455,175	566,268
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	200,000	100,000
長期借入れによる収入	600,000	600,000
長期借入金の返済による支出	674,554	265,364
ファイナンス・リース債務の返済による支出	10,223	11,190
建設協力金の返済による支出	7,500	-
自己株式の取得による支出	32	19
配当金の支払額	259,341	259,340
その他	-	7,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	151,650	156,587
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	468,076	34,047
現金及び現金同等物の期首残高	1,958,822	1,526,291
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,490,746	1,492,244

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【追加情報】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
従業員給料・賞与	1,010,449千円	1,023,701千円
販売促進費	745,091	796,873
貸倒引当金繰入額	9,486	18,749
賞与引当金繰入額	140,797	159,125
退職給付引当金繰入額	18,061	18,485
役員退職慰労引当金繰入額	4,333	9,466

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び預金勘定	2,035,146千円	2,032,644千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	544,400	540,400
現金及び現金同等物	1,490,746	1,492,244

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月25日 定時株主総会	普通株式	259,341	50.00	平成22年3月31日	平成22年6月28日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	259,340	25.00	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	ケイシイ シイ	寿製菓	販売子会社 (11社)	九十九島 グループ	但馬寿	つきじ ちとせ	計
売上高							
外部顧客への売上高	2,965,360	2,394,836	2,010,723	1,308,169	176,923	310,833	9,166,844
セグメント間の内部 売上高又は振替高	227,069	944,896	309	128,283	371,324	18,339	1,690,220
計	3,192,429	3,339,732	2,011,032	1,436,452	548,247	329,172	10,857,064
セグメント利益 (は損失)	239,459	199,609	63,539	43,446	46,227	26,257	566,023

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	2,841	9,169,685	-	9,169,685
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1,690,220	1,690,220	-
計	2,841	10,859,905	1,690,220	9,169,685
セグメント利益 (は損失)	708	566,731	7,209	573,940

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業が含まれております。

2. セグメント利益(は損失)の調整額7,209千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額203,742千円、セグメント間取引消去額5,741千円、たな卸資産の調整額 6,585千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 195,689千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	ケイシイ シイ	寿製菓	販売子会社 (11社)	九十九島 グループ	但馬寿	つきじ ちとせ	計
売上高							
外部顧客への売上高	2,952,524	2,311,440	2,075,151	1,211,820	164,818	340,484	9,056,237
セグメント間の内部 売上高又は振替高	217,252	1,017,319	260	154,799	343,763	32,364	1,765,757
計	3,169,776	3,328,759	2,075,411	1,366,619	508,581	372,848	10,821,994
セグメント利益 (は損失)	126,831	212,227	95,105	28,442	30,354	7,790	485,169

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	2,434	9,058,671	-	9,058,671
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1,765,757	1,765,757	-
計	2,434	10,824,428	1,765,757	9,058,671
セグメント利益 (は損失)	264	485,433	10,500	474,933

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業が含まれております。

2. セグメント利益(は損失)の調整額 10,500千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額231,420千円、セグメント間取引消去額5,870千円、たな卸資産の調整額 4,528千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 243,262千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

著しい変動がないため、記載してありません。

(有価証券関係)

著しい変動がないため、記載してありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	25円80銭	21円25銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	267,606	220,411
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	267,606	220,411
普通株式の期中平均株式数(株)	10,373,639	10,373,574

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月7日

寿スピリッツ株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊藤 憲次 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 水野 雅史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている寿スピリッツ株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手段その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、寿スピリッツ株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。